

富士見城(大室城) (指定無) (長野県小諸市菱平)

概要

築城年代、築城主共に詳細は不明。一説には地元の豪族大井氏が築城したとされる。

天正年間になると徳川氏による上田城攻めの際に家臣の柴田康忠によりこの城が陣として使用され、以後も小諸城の支城として存続したが、元和一国一城令が発せられると廃城となった。

上信越道小諸トンネルの真上にある飯縄山の山頂にある山城です。

山城といっても、城域のすぐ近くには小諸高原美術館や県の動物愛護センターがあるため、すぐ近くまで車で行け、全く以て疲れることなく城を見れます。

上記の通り詳細はよくわかっていない城ですが、石垣が立派。

この城の最大の見どころ。

三の郭から二の郭、主郭をへて四の郭まで斜面が石垣で固められています。

ただ、これは防御のためなのか、それとも斜面崩落防止のためなのかは不明。

ちなみに、「富士見城」という名の通り、天気が良く空気が澄んでいる日は遠く富士山が見えるようで。

「城とか陵墓とか」サイトによる 勝手に転載 ごめんなさい

